

平成19年2月 定例会教育委員会 会議録

平成18年度塩尻市教育委員会2月定例会が、平成19年2月22日、午後1時塩尻教育センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 3月の行事予定等について
報告第2号 後援・共催について
報告第3号 元気っ子相談実施中間報告について
報告第4号 不登校対策委員会の設置について
報告第5号 生徒指導に関する報告について

4 議事

- 議事第1号 教育委員会関係例規改正について
議事第2号 平成19年度教育委員会予算について
議事第3号 平成18年度教育委員会補正予算について
議事第4号 平成19年度学校給食費について
議事第5号 要保護準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉(追加案件)

5 その他

- その他第1号 教育委員会行事予定表について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	百 瀬 哲 夫	委員長職務代理者	丸 山 典 子
委員	岡 本 た ま	委員	村 田 茂 之
教育長	藤 村 徹		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	赤 羽 修	こども教育部次長	丸 山 保
こども課長	中 島 誠	家庭教育室長	樋 口 千 代 子
生涯学習部長	武 居 和 雄	生涯学習部次長	神 戸 保
社会教育課長	白 木 進	平出博物館長	小 林 康 男
短歌館館長	小 澤 潔	スポーツ振興課長	竹 原 次 男
男女共同参画課長	山 田 昭 文	人権推進室長	青 木 弘 貴

○ 事務局出席者

教育企画担当課長	小 島 賢 司	学校支援係長	羽 多 野 紀 子
----------	---------	--------	-----------

1 開 会

百瀬委員長

定刻より少し早いですがただいまから2月定例教育委員会を開催します。

本日も、議題がたくさんありますので、議事進行にご協力をお願いいたします。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

それでは、次第に従いまして2番の前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

小島担当課長

本日、会議録をお届けしましたので、内容をご確認いただき次回3月の定例会に署名をお願いします。

百瀬委員長

閉会后、署名をとということでございますが、よろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それではそのようにお願いします。

3 教育長報告

百瀬委員長

次に3番の教育長報告ですが、はじめに教育長から総括的な報告をお願いいたします。

藤村教育長

はい、お願いします。

小中学校では、学校の自己評価などを資料として、来年度の教育計画等の方向を策定している現状であります。

全国的にインフルエンザの発生が懸念されているニュースがありますが、塩尻市の場合は、今のところ西部中学校でインフルエンザと診断された生徒は1名ですが、カゼということで7名が休み、内本日の早退が5名という状態で、熱もあるということで心配しています。その他の学校では、広陵中、桔梗小でインフルエンザが若干でてきていますが、流行の兆しが今のところみえないという状況で、うがい、手洗いの励行をお願いしているところです。

もう一点ふれさせていただきますが、先日の市民タイムスの投書欄「口差点」に、「最大のいじめ」という見出しで記事が載っておりました。内容は、教育再生会議で示されている教員免許の更新制の問題ですが、指導力不足の教員の排除を掲げて方法が示されたわけです。投書によりますと「これは教育現場のことを考えない教員に対する最大のいじめとしかとれない」というものでした。今、教育再生会議あ

るいは中教審等で教育改革についてさまざまな論議をされているわけですが、たとえば今の教員免許の更新制につきましては、昨年の7月ですか、中教審からは「不適格教員の排除を目的としたものではない」ということを明記した上で、提案されたと記憶しています。今回の教育再生会議の提案は、はっきりと「指導力不足の教員を排除するのが目的である」とうたわれています。その事について、市民の方は疑問を持たれたのではないかと思います。

そのほか教育再生会議あるいは、中教審等で教育改革についてさまざまな論議をされているわけですが、現在実施されている問題としては、教員の評価の問題、給与の削減、年金の削減というような問題が実際に進行しています。考えてみますとこういう施策というのは、やはり学校への不信感、あるいは教職員への不信感が根底にあるのではないかと、この投書を読みながら感じを受けています。信頼関係がない中でいくらいろいろな事やっても成果が上がるか危惧を持っています。そうした危惧は、私ばかりではないと思います。文科省をはじめ再生会議、あるいは中央教育審議会でも、本当に現場、先生方の実情をよく見た上で、これは本当に応援しなければいけないとか、学校や教師を信頼した上で施策を考えていただかなければいけないと感じています。これから教育改革について、論議がされると思いますが教育委員会、教育委員としてもそうした情報を受け止めながら考えていく必要があると思います。

そのほかに報告が1号から5号までありますが、担当から説明しますのでよろしくをお願いします。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。

それでは、報告第1号から始めていきたいと思います。

○報告第1号 3月の行事予定について

百瀬委員長

それでは、報告第1号、3月の行事予定について、説明をお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 3月は定例市議会の月であり、委員長の出席をお願いします。
- ・ 2日の校長教頭会懇親会は、本年初めてご招待がきている。都合によって出席を願う。
- ・ 12日の市町村教委連絡会は、市議会福祉教育委員会のため教育長が出席できないので委員長の出席をお願いしたい。
- ・ 15、16日の小学校、中学校卒業式は、別途ご案内する。
- ・ 19日は、吉田ひまわり保育園の竣工式に出席をお願いしたい。
- ・ 30日には、退職校長の辞令交付式等を予定している。
- ・ 次回の定例教育委員会は、21～23日の午後1時半からでご調整をお願いしたい。

百瀬委員長

生涯学習部お願いします。

神戸次長

生涯学習部は、記載のとおりです。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。質疑等がございましたらお願いいたします。

次回の定例教委の日程は、どんな予定ですか。

小島担当課長

3月の日程が詰まっております、ご覧のとおり生涯学習部も合わせますと、22日がとれそうです。木曜日ではありますが、お願いできれば午後1時半からお願いしたいと思います。

百瀬委員長

はい、次回3月22日、午後1時半ということですが、委員の皆さん、ご都合はいかがでしょうか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、次回3月22日木曜日、午後1時半ということでお願いします。行事予定関係につきましては、以上でよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい、それでは次に進みます。

○報告第2号 共催後援について

百瀬委員長

報告第2号、共催後援について説明をお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 2件あり、いずれも終了しているのでお願いしたい。

百瀬委員長

スポーツ振興課、説明をお願いします。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 2件をお願いする。

百瀬委員長

社会教育課、お願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 4件をお願いする。2番目が松本市、ほかは塩尻市で開催する。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(なし)

委員の皆さんよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

ありがとうございました。

○報告第3号 元気っ子相談実施中間報告について

百瀬委員長

報告第3号に入ります。元気っ子相談実施中間報告について、事務局からお願いいたします。

樋口室長

(資料に基づき説明)

- ・ 昨年の11月2日から本年1月16日まで19園で実施したので報告する。
- ・ 0歳から18歳までの児童を育ちに応じて早い時期から支援したいと、元気っ子応援事業を創設した。
- ・ 出発点の元気っ子相談は、育児支援、発達への気づき、就学に向けた心構えの場として、保育園年中児を対象に実施した。
- ・ 正常異常を区分するものではない。個性を大切にし、小学校へ継続支援していく。
- ・ 内容は、保護者と共に50分間遊びを見学後、個別相談とした。
- ・ 相談内容は、別紙の通り。
- ・ 第一次結果として、引き続き相談が必要な児童が35人となった。
- ・ 今後、2月20日から専門家を交え伸ばす手だてを検討していく。
- ・ 対象児童は、各相談を実施していく。
- ・ 検討課題は、記載の通り。
- ・ 19年度では、支援を推進すると共に課題を研究していく。
- ・ 相談内容のまとめ報告
- ・ 集中力に課題のある児童の母親に就寝時間を確認すると、10時から12時との回答があり、「子どもが損をしている」点を説明し指導した。
- ・ 小学校に向けての対応としては、この時期にしっかり生活習慣を身につけたいと指導した。
- ・ 育児支援として、悩み不安に答えていく。

百瀬委員長

はい。ありがとうございました。質疑等がございましたらお願いいたします。

岡本委員

19園で保護者の欠席数が9名となっていますが、お子さんはいらして保護者が出席できなかったと解釈してよろしいですか。

樋口室長

はい。

岡本委員

皆さんの関心が高くて出席率が高かったと思ったのですが、欠席された9名の中で気になるお子さんはいましたか。

それから、相談カード記入者が355人、74%で、実際に出席した保護者の率に比べてすごく低いと数字の上からは思いましたが、カードを提出されたけれども相談内容の記載がなかったという事ですか。それともカードを出されなかったのでしょうか。

樋口室長

初めのご質問ですが、この事業を始める前に19園の保育園に説明に歩きまして、事業の趣旨について十分説明させていただきました。1園だけいろいろなご意見、質問がされてもう一度説明に伺いましたが、他の18園は1回の説明でご理解いただきました。元気っ子相談が始まるときに障害のあるお子さんが出席しないのではないかと心配しましたが、欠席者はすべてお母さんの病欠でした。現在、加配のついているお子さんも、気がかりなお子さんも出席していただいた状況です。

相談カードは、355人から記入していただきましたが、その他の方は特になしという記載内容です。提出は、479人、全員の方から出していただいております。まったく白紙で出していただいた方も数人いらっしゃいます。

岡本委員

一点目について、言い方が悪かったかもしれませんが、数字は出席児童数が457人に対して、保護者の出席が448人となっていますね。

樋口室長

はい。

岡本委員

そうすると、お子さんは出席していてもお母さんが来れなかった方がいて、そのお母さんが来られなかった家庭のお子さんに相談員と保育園から観て気になるお子さんはいたのでしょうか。

樋口室長

今、二次検討会が2園終わったところですが、この中に多い園で5、6人の欠席されたお母さんがいますが、その中では2人の応援相談が必要かなと思われるお子さんがいます。その子どもについては、保育園と連携して対応していきませんが、元気っ子相談をしていませんので、丁寧にご説明しながら対応したいと思います。

百瀬委員長

はい、よろしいですか。

岡本委員

はい。

百瀬委員長

ほかには、よろしいですか。

村田委員

高い目標かもしれませんが、育児は当然つながっていきますので、7番の検討課題にも書かれていますが、今回の元気っ子相談の結果をどのように継続していくかが大切だと思います。私は、医療関係の仕事もしていますが、カルテは誰の物かとの議論があります。

たとえば、相談結果を行政の方でためててもしょうがないんですね。成長過程に合わせて本来は、親がどう観ていて、経過の中で「保育園では、こういうことがあったけど、小学校では良くなったね」と体系的な仕組みに持っていけるよう検討していただきたいと思います。病院にカルテを置いておいても、そこに患者が来なければ役に立たない情報になってしまうのと同じだと思いますので。

樋口室長

おっしゃるとおりだと思います。カルテは、保護者の物ですので保護者の皆さんと相談した内容をためながら、おことわりして小学校に引き継いでいきたいと思えます。

ただ、今年の年長さんの就学状況で、お一人だけ保護者の理解が得られない児童がいますが、クラス編成のなかで考慮が必要なお子さんなので、保護者の理解は得られませんでした。学校と連絡して配慮していただくようお願いしました。

村田委員

よろしくをお願いします。

百瀬委員長

ほかにございましたらお願いします。

岡本委員

7番の検討課題のところで、三つ目に広く市民に理解してもらうために、「発達障害」についての啓発事業がありますが、具体的な啓発事業は、どのようにしていったらよいか案はありますか。

樋口室長

まず、小中学校の先生方に十分理解していただかなくていけないと、平成18年度と19年度に分けて、全教職員を対象に研修会を実施しています。これは、毎年繰り返して実施したいと思っています。保育園の先生につきましても同じように、こども課で研修していただいております。そこを固め、次は市民への啓発事業だと思っています。講演会等に出てきてくれる人は限られてしまいますので、そこをどのようにもっていくか考えていきたいと思っています。

百瀬委員長

ほかにございますか。

丸山代理

今の質問に関連してですが、久喜市へ研修に行きましたときに、軽度発達障害のお子さんに対してどう関わるかとか、行動様式はどうかなどを専門の先生方のアドバイスを受けて市が冊子にまとめ、それを使って先生方とかが関わっていくという事例がありました。これから先の事になりますが、いろいろな事例を含め効果の有無をまとめて冊子にして、研修会などに活用できたら良いのではないかと思います。塩尻市の特性にもなるのではないのでしょうか。

それから協議会の中でも申しましたが、躰に対する相談について不安に思っている例では、成長の中の発達段階によるものなのか、たまたまそのような病気の要素をもっているのかがあり、はっきりしておいた方が良いのではないのでしょうか。

今、柳沢先生の運動プログラムでたくさん運動すれば落ち着きがある程度発達する例もあります。元気っ子相談ではありませんが、保育園でたくさん運動をするという事を積極的に取り入れて後方的な支援ができたと思います。

樋口室長

久喜市に視察に行かれた際の冊子は、手元にもらってありますので参考にしていきます。また、県でも各学校に配布していますので、塩尻版ができればと考えています。

百瀬委員長

ほかにございますか。

岡本委員

躰に関して相談したい事の中に「しかり方、怒り方、ほめ方」とか、「甘えさせる甘やかす区別」、「どこまでが躰で虐待か」、「子どもとどうやって遊んだらいいか」、「ふざけると楽しいの違い」など、すごく基本的な事があります。社会が変わっていく中で、今のお母さん達が育ったときの環境と違うことがあり、不安に思っている方がすごく多いと感じました。この相談については、個々に対応されたわけですね。

樋口室長

はい。

岡本委員

それで、相談された方以外にもそのような不安を持っている方がいるかもしれないので、このことに対しての情報提供、「このように考えたらどうですか」などと母親をサポートしていけるようなプリントを教育委員会として配布するとかできれば良いなと思います。

樋口室長

今回、保護者の皆さんには、保育園の保護者便りでこの中の数点と早寝早起きがいかに大切かを書かせていただきました。教育委員会の部課長会議でも、せつかくこのデータを子育て支援に活かしていかなければいけないと意見があり、部長からの指示を受けておりますので考えてまいります。

岡本委員

よろしく申し上げます。

村田委員

これだけの情報は貴重なものだと思います。たぶん個別相談では、自分の子どもしか判りませんが、他の子どもと比べてどうなのかは基本的には物差しになるものだと思いますので、この結果は公表できるかどうかだと思います。工夫していただければありがたいと思います。

百瀬委員長

その点は、今考えられている事がございますか。私も保護者の皆さんがこの結果を見ると「私と同じような事を皆さんも悩んでいる」と分かれば、落ち着く事もあると思います。情報が共有されれば良いと思います。お答えできる事があればお願いいたします。

中島課長

結果につきましては、保護者の方にも概要をお知らせしております。

百瀬委員長

もう知らせてありますか。

中島課長

はい。これからも保護者会との懇談会もございますので、そのような機会にお知らせしたりしたいと思っております。

百瀬委員長

分かりました。最後に10ページの興味に関する相談内容ですが、テレビを観る時間が長い、パソコンのゲームに熱中とかあり、これは多分親がそこで観ていると思います。来年度の中では、早寝早起き朝ごはん運動の一環の中でテレビの視聴時間の問題等の啓発をしたいと以前にもお聞きしておりますので、進めていただければありがたいと思います。

それでは、報告3号はよろしゅうございますか。

委員

はい。

百瀬委員長

ありがとうございました。

○報告第4号 不登校対策委員会の設置について

百瀬委員長

報告第4号に移ります。小島担当課長からお願いいたします。

小島担当課長

報告案件として、名簿のみ資料を提出させていただきましたが、内容を事務局で調整中でございますので別途報告するという事をお願いいたします。

百瀬委員長

別途報告するという事で、今回は報告案件ではないということであります。

○報告第5号 生徒指導等に関する報告について

百瀬委員長

それでは報告第5号に移ります。生徒指導等に関する報告について、お願いいたします。

羽多野係長

(資料に基づき説明)

- ・ 定例会において、その都度報告している。
- ・ 前回1月25日に報告した内容の他、報告はない。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いいたします。(なし)
それでは報告事項を終わります。

4 議 事

百瀬委員長

それでは議事に入ります。

○議事第1号 教育委員会関係例規改正について

百瀬委員長

議事第1号、教育委員会関係例規改正についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

中島課長

(資料に基づき説明)

- ・ ひまわり保育園が4月1日にオープンするので設置場所を改正する。
- ・ 吉田原土地地区画整理事業の換地処分の決定に伴い吉田原保育園の設置場所を改正する。
- ・ 吉田ひまわり保育園の定員を170人に拡大する。
- ・ 定率減税の廃止に伴い保育料を軽減するため保育料徴収規則を改正する。内容は国基準に基づくもの。
- ・ 檜川村編入に伴う保育料の是正を4年間で行うため、3年目の改定をする。平成20年度から同じ金額となる。
- ・ 児童館条例は、午前中に開館式を行った大門児童館の開館期日を定める。
12月議会で設置を定めたがここで会館期日を定め、本日の午後から利用する。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ 平出遺跡公園条例は、ガイダンス棟のオープンに伴うもの。
- ・ 管理規則では、時間を9時から5時に、休館日は博物館と同様に定める。
- ・ 遵守事項を定める。

百瀬委員長

ありがとうございました。以上の5点ですが、質疑等ございましたらお願いしま

す。

岡本委員

公園管理規則の2条ですが、前回の教育委員会の時に開館時間については、平出博物館と同じように8時30分から5時15分という話しだったと思いますが、変わった理由を教えてください。

小林館長

実は、平出博物館の開館時間は、9時から4時半でした。申し訳ありません。

岡本委員

そうですか。

小林館長

それですね、博物館の場合は4時半までに入館して一周するのに5時くらいまでかかるというので、閉館時間は、4時半になっています。このガイダンス施設につきましては、実物展示のある施設ではありませんので、ご案内をする施設ですの一応、博物館より長く5時までとさせていただきます。その後、15分間は整理をする時間として予定をしております。

百瀬委員長

はい。よろしゅうございますか。

岡本委員

分かりました。

村田委員

ガイダンス棟という言葉ですが、いろいろ学術的などころから検討されたと思います。決まった事ですから何とも言えませんが、来た人から見てガイダンス棟という言葉は難しくないでしょうか。

百瀬委員長

なにか経過がありましたらお願いします。

小林館長

本来でしたら「平出縄文館」とか「遺跡館」とかの名前が良いと思いましたが。ただ、すでに平出博物館という施設がありまして、他市の同類の施設名称を参考にさせていただきました。その中では、単に「ガイダンス」ですとか「ガイダンス施設」という名前がありました。それで建物に対して「施設」はいかがなものかと塩尻の場合は「ガイダンス棟」としました。「案内所」も体験学習などをする施設ですので、それらを総合的に検討した結果、「ガイダンス棟」がベターではないかと決定しました。

村田委員

分かりました。ありがとうございました。

百瀬委員長

ほかにありますか。(なし)

無いようですので、以上の5点につきまして市議会3月の定例会に上程するとい

うことによろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい。ありがとうございました。

○議事第2号 平成19年度教育委員会予算について

百瀬委員長

それでは、議事第2号に入ります。平成19年度教育委員会予算についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 北部子育て支援センターは、現在建設中の吉田ひまわり保育園の後施設を利用し、吉田児童館分館を併せて設置する。
- ・ 小学校内で実施している放課後児童教室の機能を洗馬児童館の児童クラブに移す。
- ・ 奨学資金会計繰り出しは、償還事務を取り扱う。
- ・ スクールバスは、新たに檜川地区で運行する。
- ・ 起業家教育は、講師を養成しながら事業を進める。
- ・ 防犯カメラは、小中各校4台設置する。

中島課長

(資料に基づき説明)

- ・ 保育園は、待機児童が無く全員が入園できる。
- ・ 給食調理業務民間委託は、新たに2園拡大する。
- ・ 長時間保育は4園、一時的保育は1園拡大し5園とする。
- ・ 北部子育て支援センターは、9月の開館を予定している。
- ・ つどいの広場は、保育園と児童館で実施してきたが、子育て支援センターとともに統一的な取り組みとしていく。
- ・ 吉田児童館分館は、9月開設予定
- ・ 元気っ子応援事業は、2年目となり充実を図る。
- ・ 居場所づくり事業は、国の補助が終了するが市の補助事業として継続する。

小島担当課長

(樋口室長が退席のため、資料に基づき説明)

- ・ 家庭教育室は、元気っ子応援事業の個別対応を進める。
- ・ 基本的な生活習慣の確立では、講演会を予定し、テレビが発達に与える影響、特に害の部分についての講師を予定している。
- ・ 家庭支援では、支援員を家庭に派遣するなど対応していく。

百瀬委員長

ここで一旦切らせていただきます。これまでの中で質疑等がございましたらお願

いたします。

赤羽部長

お願いします。目が届かず恐縮ですが訂正を1件お願いします。

百瀬委員長

はい。

赤羽部長

19ページの洗馬児童館ですが、事業内容に「福祉センター」とありますが、「ふれあいセンター」に訂正をお願いします。高齢者から子どもまでという施設でありますので、福祉を取りまして「ふれあい」としております。

百瀬委員長

はい。それでは質疑等をお願いいたします。

丸山代理

20ページの小学校英語活動サポート事業ですが、今年度の指定は西小学校と吉田小学校ですが、来年度も学校は固定ですか。学校が代わっていくことは計画されていますか。

藤村教育長

今年度は、2校指定でやってきたわけですが、来年度は今年度の成果を踏まえながら、すべての小学校へ拡大していくよう考えています。西小学校だけは、別の研究指定があります。来年度は、各小学校で充実した形になると思います。

丸山代理

資料にはありませんが、保育園と小学校の連携事業がありますね。何回か研究事業を見せていただきましたが、子どもの送り迎えなどの活動は予算をどのように対応していきますか。

小島担当課長

幼保小連携活動ということで引き続き実施していきます。今年度からは全校体制で進める事になっておりまして、特別な事業費としては予算対応をしてありません。予算化は、隣接する小学校と保育園ばかりではありませんので、距離がある場合はバスを運行する経費をみております。来年度は、指定校が東小学校になり研究を深めていただきますが、教育委員会から15万円の研究委託費を予算化しています。

百瀬委員長

はじめに確認しませんでしたでしたが、この資料は主な予算についてまとめたものですね。

小島担当課長

そうです。お手元の資料は、市議会に来年度の予算編成を説明するための資料です。この資料を元に市議会にも主な事業内容を説明していきます。

藤村教育長

ここには、人件費などの経常的な経費は含まれていません。

百瀬委員長

そうですね。

赤羽部長

資料には、経常経費は入っていませんが、こども教育部全体では約36億円余の予算となっています。内教育総務課が約18億円、こども課が約18億円を若干下回る金額です。それから家庭教育室が1千5百万円ほどになります。

百瀬委員長

新聞報道で教育費が9.8%、26億円余とありましたが、さらに民生費も入るわけですね。

赤羽部長

そういうことになります。

百瀬委員長

合わせて36億円ほどになるということだと思います。

他に質疑がありましたらお願いいたします。

村田委員

はい。予算は、個別に検討されているので良いと思いますが、今日の大門児童館もそうですがいわゆるハード事業とソフト事業も一緒になっています。そのような中で予算の策定方針というか、計画的に毎年更新する様な事もされていると思いますが、予算額の面でソフト事業がお粗末になっていないかはどうですか。

赤羽部長

資料には、ソフトの記述が少ない状況です。本当は、予算策定の基本方針をご覧いただければ良かったと思います。この資料は、記者会見でも配布していますが、私共の部としては、こども教育部をつくって0歳から18歳までの支援を進め、子育てしやすい環境づくりをコンセプトにして力を入れています。今は、ハードもあります。特に保育園は、新しい保育園を建てる事も進めますが、各保育園の未満児の受入とかには人件費もかけています。それをどこまで受け入れるか課題もありますが、子育てしやすい環境づくりと元気っ子応援事業によって幼児の時から小学校中学校へ、あるいは成人までどうやってつなげていくかを推進したいと思います。子育てしやすい環境づくりが進めば人口の増加にもつながりますし、市にとってもこれは良い事になると考えています。

村田委員

市全体の上位の予算編成方針というのもあるわけですか。今のお話しは、こども教育部でという事でしたが、市全体の方針があってそれから降りてくるようなものはありますか。

赤羽部長

市全体の予算編成は、財源が十分にあるわけではないので、その中で重点施策はどうかということになります。それを各部、事業部でまとめて上げていく事になります。それによって全体が組み立てられます。ただ、予算には枠がはめられています。要するに「部全体で5%カットをして予算を組み立てなさい」という方法

です。

村田委員

なるほど。

赤羽部長

ただ、5%をカットした部分で「あなたの部で特化したものはなにか」という部分で要求できるものもあり、それについて査定を受けて最終的には予算に盛られるという特徴もあります。それが、ソフトであろうがハードであろうがということです。

村田委員

新聞紙面には、選択と集中という表現が出ていましたが、その結果がこれという事ですね。

赤羽部長

そうです。

村田委員

分かりました。ありがとうございました。

百瀬委員長

ほかにございましたら。

岡本委員

23ページの保育所運営費で増減額が大幅に減っていますが、これは給食民間委託の影響があってこれだけ減ったわけですか。

中島課長

全体的な見直しをしております。特に給食調理の委託もありますが、消耗品など運営費全体の見直しをしている事があります。

赤羽部長

運営費の中では、給食調理業務委託を2園追加することで若干下がります。全体の枠の中では、組み合わせになりますので人件費から委託費に回る事になり、その差額が4百万円など出てきます。それと経常経費は、5%削減していますのでこれだけの予算の中で5%は大きな金額になってきます。それもあったり、全体を精査した結果がこの金額になっています。

百瀬委員長

他にございましたらお願いします。

丸山代理

予算そのものとは関係ありませんが、午前中に児童館の竣工式を拝見しました。これからも児童館を造っていくにあたって、市民交流センターのようにどういふものをどういう形で配置するかは、市民懇談会でも自分の家を造るように神経質に考えています。せっかく新しく造るのですから、今日も素人目に観ても「これはちょっとな」と思う所が何か所かありましたので、たくさんの方からいろいろな意見を聴いて、設計に活かしていただけるような形でやっていただけたらと思います。予

算がない時代ですから効率よく造っていただきたいと思います。

あと21ページの中学校施設営繕費の中で、更衣室とか更衣コーナーが造れないとご返事をいただいておりますが、PTAからは要望が出ていますが、教育委員会としてそれを受けて何か起こすのか、やっぱり「できませんよ」と言ってしまうのか。来年度はどういう方向で計画されていますか。

小島担当課長

体育館を整備したときに更衣室を整備してございますが、学校では管理方法から今は使えないということになっています。そういう中で更衣室が無いとの位置づけですから、私共としては予算が限られている中では、あるものを工夫して使っていただきたいと思いますという方向で考えています。その点は、学校とも調整させていただきます。

中島課長

一点目の児童館の事でございますが、大門も洗馬もそうですが、設計のたたき台がいくつもある案の内から実際利用される子どもさんの保護者の方、あるいは学校の先生、児童館、児童クラブの職員に案を示しまして、それぞれの設計案の中での利用しづらさとか施設的な事を検討いただきまして、またご意見をいただいて使いやすい、あるいは安全な施設を心がけております。

百瀬委員長

はい。あとはよろしいでしょうか。(なし)

それでは時間も1時間を過ぎましたので、10分間の休憩を取りたいと思います。

(休憩)

百瀬委員長

休憩を解いて再開したいと思います。

生涯学習部関係の説明をお願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 公民館分館の工事費助成は半額を補助している。
- ・ 全国短歌フォーラムの減額は、今年度が20周年記念であり選者を5人にした事、プレイベントを実施した事による。
- ・ 選者の先生は、佐佐木幸綱先生をお願いし陣容が変わる。
- ・ 学生短歌フォーラムは、選者、名称等を2月に実行委員会と検討委員会を開催し決定する。
- ・ 文化会館は、来年も450万円減額し文化振興を進める。
- ・ パソコン使用料は、総文の情報体験室、広丘公民館、吉田公民館に設置しているが、来年度更新する。

小澤館長

(資料に基づき説明)

- ・ 15周年記念事業を10月に予定している。
- ・ 企画展は、年間5回を予定している。
- ・ 予算の減は、街灯整備の終了によるもの。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 重伝建整備事業は、38,200千円ほどの大幅な増となったが、新たに選定された木曾平沢分の増額によるもの。奈良井については、来年度が選定30周年を迎える。
- ・ 法面等補強工事は、贄川関所の下が雨水で土台が危険な状態にあるので補強する。
- ・ 漆器館は、1階部分への木曾塗りの体験コーナーの設置、講座経費が増額となった。
- ・ 芸術文化事業費は、事業内容欄に「塩尻」の「塩」が抜けているので訂正をお願いします。協会設立は、団体を一つの傘の下に入れるよう、4月以降の設置に向けて現在努力している。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ 縄文サミットは、全国14市で連絡会を設けており、回り持ちで開催しているが、来年度は塩尻市が当番となる。
- ・ ガイダンス棟を活用した事業を実施する。
- ・ 発掘調査は、平出遺跡の他、芦ノ田の遺跡を調査する。
- ・ 公有化は、大きな面積を取得する。
- ・ 本洗馬歴史の里は、従来 of 事業を実施していく。

神戸館長

(資料に基づき説明)

- ・ 週4日開館の分館を週5日開館とすることにより、6分館が火曜から土曜日開館となる。
- ・ 図書の充実は、通常 of 予算から1千万円追加したので、新図書館に向けて30万冊 of 蔵書整備を進める。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 市民プールは、18年度の幼児用プールの改修に続きその他の改修を進める。
- ・ トレーニングプラザ管理委託は、4月から5年間、日本体力づくり協会へ委託する。
- ・ 設計委託と市立体育館耐震改修工事は、補正対応するので削除をお願いします。

山田課長

(資料に基づき説明)

- ・ 講座は、資格取得のための講座を実施する。
- ・ 女と男21世紀セミナーは、各地区へ入り開催していく。
- ・ 市民の集いは、青少年、人権と都市宣言しており、男女共同参画課と合わせ3課が順に開催しており、新年度は当番となるので7月7日に開催する。
- ・ 「共に」は、年2回広報に織り込み発行する。

青木室長

(資料に基づき説明)

- ・ 団体補助金は、本年度120万円だが新年度はゼロ円となる。昭和44年度から38年間補助してきたが、団体と調整してきたもの。
- ・ 住宅新築資金特別会計繰り出しは、融資対象者から償還の滞りがあるため、一般会計から繰り入れる。
- ・ 特別会計では、償還資金と繰入金で起債を簡保へ返済していく。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。

生涯学習部関係で質疑等ございましたらお願いいたします。

丸山代理

27ページの「全国短歌フォーラム」ですが、小中学生の部の選者の先生をこれから実行委員会で決めるという事ですが、俵万智さんとは言いませんが若い先生が一人くらいは入った方がよいと思いますのでご検討ください。

それから、文化会館運営事業についてですが、毎年「信濃の国大合唱」を観させていただいて今年も拝見しましたが、予算もある事ですしこの先どのような形になっていくのかなと思いました。最初に開催されたときは、もっと老いも若きも全部含めて、演劇を子ども達が創ったりする中でとてもエネルギーや力をもらって帰ってきましたが、今年は演劇の時間も早く終わってしまいましたしタイプが違いました。方向性というか、今後どのような形に進めていく予定でいらっしゃるのかお聞きしたいと思います。予算が少ない中でやっていることは承知しておりますけど、高校の演劇発表会が松本へ行ってしまったとか、塩尻市では青少年を育成すると片方では市長が訴えていながら、なんとなくそういう部分が違う方向に行っているきらいがあると思いますがいかがでしょうか。

白木課長

まず「短歌フォーラム」の方ですが、小中高の大会の選者の先生は今年の5人の先生の中から内々に小島ゆかり先生を予定しております。それから全国学生百人一首でご活躍されている間作先生のお二人を中央からお呼びし、塩尻の歌人の方々を選んだ方の三本立てで事務局では考えています。馬場晶子先生にも選者のご意向についてご意見を伺ったところ、「間作先生、小島ゆかり先生でよろしいのでは」とおっしゃっていただいておりますので、検討委員会でお諮りしたいと思います。

文化会館の方ですが、おっしゃった「信濃の国」はついこの間終わったところですが、実行委員会形式でやっておりましてその中の反省にも出されると思いますし、

私共の方にも「今年は淋しかった」と話しがあった事は事実です。文化振興事業団が終わった後にアンケートを採っていますが、良かったとの意見もありました。ただ、時間が短くなった点では、4時20分くらいまでかかるとパンフレットに記載がありましたが、実際には3時40分か45分に終わってしまい、まだあるのかしらと思っていたらカーテンコールが始まり問題もあったかと思いました。私も実行委員会の最終的なまとめを聞いておりませんが、私共の方からの予算が少なくなってしまうのかということとは少し違う気がしています。「信濃の国」は、最初オペラで始まって、当時の予算とするとかなりの気張りようでしたが、それが財団の評議委員会ですとか理事会で常に「そんなにかけるな」「や、いいじゃないか」とのことですうっときております。その中で行くと縮小傾向になるのかなという気がします。今後についても注視はしますが、現実的に「信濃の国」の運営に意見を言える立場ではないですから、教育委員さんからそういうご意見があった事は伝えていきます。

藤村教育長

ちょっと付け加えますが、今おっしゃったように今年は反省する点が多いと思っている事は事実です。「信濃の国大合唱フェスティバル」は、市民を挙げて市民の力で何とかしていこうというのが前提です。まあ今年は、第二部が計画したよりも時間がどんどん進んでしまって問題なこと。また、「信濃の国」の大合唱につなげる部分の所がなかなか盛り上がりなかった所、その辺が一番の反省点ではないかと思えます。第二部の企画は、なかなか難しいわけですが続けていきたいと思えます。実行委員会の形の中で市民の中から本当に堪能な人をお願いして、自分たちでオペラ、演劇の台本や演出まですべてやり、もう少し出演者を市民から募って大勢の人が参加できるような、そんな方向を考えていきたいというのが今の考え方です。具体的には、実行委員会の反省、評議員会の意見で方向付けをしたいと思えます。

岡本委員

私は、丸山先生と違って今年初めて「信濃の国大合唱」を見に行きました。時間が早く終わってしまった事や少し問題はあったんですが、はじめて見た印象としては、会場の皆さんが「信濃の国」が本当に好きだで、「信濃の国」をみんなで歌いたいからそこへ集まってくるという気がしました。

私は結婚してからこちらに来て良い歌だなと思いましたが、私の隣にたまたま同年代の知人がいまして、話しをしている中で「子どもの頃は学校で「信濃の」を教えてくれなかったから卒業してから歌い始めたよ」との話で、私の子ども達が学校で歌い始めた事とは少し差があると感じました。他府県から来た者にとっては、長野県の歌としてこれだけ浸透している事は、珍しい事ですごく価値がある事だと思います。ただ、「信濃の国」の歌についてもっと知りたい気持ちもありますので、歌の解説のようなものはなくただ突然皆で歌いだした事が少しもったいなかったと思えました。

これからどのようにしていくかについてですが、どういう対象の方に呼び掛けて

いくのかが大切ではないでしょうか。結構リピーターで来られる方は多いですが、年齢層を見るとお年寄りの方がとても多くて、もう少し青年達や40台、50代の人が興味をもって「覗いてみようかな」とかになればと思います。あるいは、私も良いなと思ったのは、童歌を皆で歌う場面があったことで、そういうところを見るだけの催し物ではなく自分も参加できる所に非常に魅力があります。そういうところをもう少し増やして、気軽な500円の入場料で市民の皆さんに「一緒に大きな声を出して冬の一日歌を歌ってみませんか」というのも良いのではないかと思います。第一部の童歌は、とても良い企画だと思いますし、私は全国的な催しではなく長野県の塩尻市でしか見る事ができない催しだと受け止めました。

丸山代理

私が記憶する限りでは、前半の長野県ゆかりの歌の合唱と「信濃の国」の起こりや塩尻市でなぜぶどうを作るようになったかがオペラ化された後半が最後に一つにまとまって「信濃の国」を歌って終わる全体の流れがありました。それが「信濃の国大合唱」なんだと思っていました。そう考えると大勢の人が集まって来て何のために「信濃の国」を歌うためののかという、目的とかねらいが少しずつずれてきている気がします。ですからどういう方向性を持って「信濃の国大合唱」をやっていくかは、これからの課題になってくるのではないかと思います。

私は、他県から来ましたが、長野県はなぜ「信濃の国」を受け継いでいくのかを小松先生がオペラ化した「信濃の国」の起こりや天竜川の話しを観て、「あ、そうやってみんなが愛してきたんだな」と流れの中の位置づけが理解できました。そういう点では、時間の長さ、短さも課題ですし、以前はもっと童謡などを市民団体がたくさん歌っていましたので、そのような事も含め大切に考えていきたい想いがあります。

百瀬委員長

ありがとうございました。私も見させていただいてお芝居が少し暗く、テーマ性から元気が出ないままで「信濃の国」の合唱にうまくつながらない印象がありました。個人的には、もう少し元気が出るような演出が良かったのではないかと思います。イベントには、それぞれいろいろな感じ方があるかと思いますし、たいへん難しい事だと思いますがご意見を吸い上げていただいて次回につなげていただきたいと思います。

その他にはいかがですか。

村田委員

お願いします。非常に広範囲な事業内容で全体を理解していない状態ですが、観光事業という側面、外部からの誘客という点から観た施策としての考え方、もしくは観光振興との連携が予算上どのようになっているかご紹介いただければと思います。

百瀬委員長

観光がらみでは、短歌フォーラムだけではなく平出遺跡もありますし、重伝建と

かも観光との連携が課題であろうかと思えます。市議会でもよく出ますので、お考えがありましたらお願いします。

白木課長

塩尻市の一番の観光地と言えば奈良井になります。奈良井では、約30万から40万のお客が入っております。私共は、それだけ多くの方がいらっしゃるなら他にも流れていただきたいという話があり、市内の博物館、社会教育施設など、今度のガイダンス棟を入れると10ありますので、それをよく知っていただこうと考えております。4月15日号の広報で市内の博物館の年間行事予定表や、施設の案内を紹介したいと考えています。特に5月22日から27日までは博物館週間として、皆さんにただで見ていただいたり、27日は平出の遺跡祭りがありますから、ガイダンス棟の見学のほか車を2台出して市内の博物館をAコース、Bコースに分けて見学するようなイベントを考えております。

その他、平沢、奈良井の重伝建施設をお金をかけて写真に撮って紹介するなど、そのようなことを重点的に進めなくてはいけないと思っています。

短歌フォーラムについては、二日目に「みて歩き」を実施していますが、今回は21回で馬場先生も佐佐木幸綱も奈良井で一日残っていただいて「歌会をしてはどうか」とおっしゃっていただいておりますので、なるべく泊まっていただく方を増やしたいと考えております。

村田委員

いろいろな工夫があると思います。

竹原課長

私共も奈良井、檜川のスポーツ施設の関係で民宿を早めに押さえない利用者の方がいます。市内の体育施設は、利用率が高く「ご自由にお使いください」という事は出来ませんので、檜川では民宿という事も考慮しながら体育施設をできるだけ早めにとっていただくことができるように、予約の期限前に対応しようと考えています。微々たる事ではありますが、それが市内の誘客につながればという事を加味しながら対応したいと考えています。

それから、アルプス展望ロードレースの関係では、観光と健康体力づくりを合わせた一つのコンセプトに持ちながら開催してきております。大勢の方が全国から来ていただける事をねらいながら取り組んできており、地場産の物をお持ち帰りいただけるような抽選会などの工夫をしながら進めてきております。

スポーツの面から経済効果を高めるまでの取り組みはできていませんが、そのような取り組みもありますので述べさせていただきます。

武居部長

平出遺跡の縄文の村は、観光面でも売り出しておりますので一年間の実績面からお話しします。

小林館長

縄文の村が今年の4月1日からオープンしており、県内全部の小中高校にご案内

を出しました。平出博物館には、1.5倍の入場者があり効果があったと思っています。これからガイダンス棟ができますのでPRしていきたいと思っていますし、併せて6月30日に「縄文サミット」があり独自のポスターも作りますので、そのような事もきっかけにしていきたいと考えています。

まあ、ああいう施設ですのでどちらかという学習に重点を置いた観光客になるかと思いますが、少しずつ効果が出てきていると実感しています。

村田委員

外向けにできるリソース、資源だと思います。それをうまくバランスを取っていただきたいことと、たとえば開催日もなにかビックイベントの中でトータルでやる手もあるでしょうし、毎月何かやっているというような手もあるでしょうし、単発ではなくてトータルで塩尻に来て欲しいとか、月並みですけど「もう一回行ってみよう」という気になるかどうかですね。「あそこは行ったからもういいや」と言う人もいるでしょうし。そういうところの工夫をどうしていくかは、今まではあまりいらなかったでしょうけど、これからはもっとそのようなセンスが必要だと思いますし、他とどのように連携していくかも考えて欲しいと思います。よろしく願います。

もう一点だけ専門の所でお願いします。パソコンですが補助金を入れて推進され、確かに古くなる事はありますが、いずれにしても誰がどういう風に使っていくかという流れが変わっていると思うんですね。例えば、塩尻市のITリテラシーとかには大きな成果を出してきたと考えていますが、教育は継続しているかもしれませんがこれから5年間、どうやって使っていくのか、誰が使っていくのかという話しはどうなっていますか、台数的な見直しはどうされていますかという点をお聞きしたいと思います。

白木課長

この事業は私共の方です。先ほどは説明しなかったですが、これは12年に文部省の補助金で入れたものです。すでに7年くらい経過してきますと教室を開いても使えなくなる状況で、新しく入れ替えますがまた入れ替えなければいけないのではないかという話しがあります。市内でパソコン教室ができる施設は、私共の社会教育課と情報プラザがあります。それとふれあいプラザの方でも就業に役立つ講座があり、講座関係では三つくらいあります。私共は、地域の中で一番とっかかり易い部分を受け持ち、より高度なものは情報プラザでやっていただきたいとしています。

これから5年後には、ほとんど一般化してしまうから、とりあえず今回の更新が最後でこのリース期間が切れたら私共のものについては全部やめようということで、財政の方の合意をいただいた最終的な対応です。ですから総文の体験コーナーは、市内で育った「IT100」というお年寄りの方々のボランティアグループとか、「ひよこ」さんですとかが講師になって教えていただいている部分は、リースが切れる5年後くらいまで続けていきたいと考えています。

村田委員

この成果というか、どう見るかということがあると思います。とある自治体でやったときに、昔の各戸のテレビの普及率がだんだん白黒からカラーになっていったように、パソコンやインターネットを使った生活スタイルが各家にどれくらい入っていくかとの指標ですが、これはなかなか100にはできないと思います。使い方が分かって便利だから家にもある。また新しい行政サービスができる可能性がある。というようなストーリーが欲しいですね。もう各家に入れ終わったから、教わる人も終わったからやめるとの話もいいですが、もっと別の指標が合ってもいいと思います。理想論みたいな事を言っていて申し訳ない気もしますが、そのような点からご検討いただけたらと思います。

百瀬委員長

はい。時間も迫ってきましたが、よろしいですか。

丸山代理

アルプス展望ロードレースのお話しが出ましたが、先日、スポーツライターの二宮清純さんの話でスポーツというものは地域の活性化であるとか、経済効果にすごく貢献するという事を聞きました。お話を聞きながら、走る事がとても文化的な事でスポーツメーカーもジョギングウェアをすごく工夫している事、先日の東京マラソンや今度の増田明美さんの文化講演会、そういう事が一体化していろいろな流れに乗り、講演会があるのであれば増田明美さんがそのロードレースのコースを走ってみる事でみんなが興味を持ち「良いところを走れるんだなあ」とか「走る事によってどういう効果が得られるのかな」とリンクされると参加者が増えるのではないかなと思いました。また、せっかく良い風景の所を走れますので、著名な方が走る事で宣伝になれば良いと思います。

それから来年度の日程も組んであると思いますが、去年のアルプスロードレースのように他のイベントと重ならないようにして、皆が参加できるよう事前に講座を持つ事が出来たら市民にも県外の方にも良いと思います。スポーツという分野でもっと塩尻市を売り出すことができるのではないかと考えました。

百瀬委員長

他は、よろしいでしょうか。(なし)

それでは以上で議事第2号、19年度の教育委員会関係予算についての審議を終了します。3月の定例市議会に上程される事になります。

○議事第3号 平成18年度教育委員会補正予算について

百瀬委員長

それでは、議事第3号に入ります。平成18年度教育委員会補正予算について説明をお願いいたします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 摘要欄に記載があるが、事業費が決まって不要額を補正するものが多い。

- ・ 8番は、事業費確定としているが、交付税の額の確定、児童数の確定による。
- ・ 15番は、新年度事業として計画したが、摘要欄の国の合併補助金の事業として18年度に繰り上げて予算化し、19年度に予算を繰り越して執行する。
- ・ 17番は、老朽が激しいので取替工事をする。工事は予め実施しており、予算対応をするもの。
- ・ 18番は、小学校負担金と同様の理由による。

中島課長

(資料に基づき説明)

- ・ 24番は、児童数の増等により使用料の増加に対応する。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 36番は、主に野村公民館の新築工事の入札額が低くなったもの。
- ・ 37番は、入札差金の減額
- ・ 39番は、檜川公民館の消防設備が型式失効しているため、4月から一部をJAへの賃貸に向けて補正対応する。
- ・ 40番は、島崎家の改修で文化庁の補助が2か年度事業となったもの。

小林館長

(資料に基づき説明)

- ・ すべて事業費の確定によるもの。

神戸館長

(資料に基づき説明)

- ・ 国の補助金がつき19百万円により、新しい図書館に向けて資料の充実を図る。
- ・ DVDを中心に資料収集する。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 56、57番は、新年度予算で削除した部分を補正予算で対応する。市立体育館の耐震改修工事をするもので、併せて照明の改修工事を実施する。
- ・ 合併補助金は、事業費の100%補助となる。入札により予算が不足する場合は、新年度補正で合併特例債を活用する。

青木室長

(資料に基づき説明)

- ・ 原口集会所の雨水対策の修繕費が確定したもの。

百瀬委員長

ありがとうございました。質問等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

40ページの図書購入費で補正後が36,360千円ですが、これについてはほとんどが購入されているということですか。

神戸館長

そうです。補正前の約17,000千円は購入済です。

岡本委員

補正額の19,000千円はまだですね。

神戸館長

今後、新年度に購入します。

岡本委員

新年度は、新たに27,000千円がありましたよね。

神戸館長

あります。

岡本委員

そうすると莫大な図書購入費ですが、それについてどういった物を購入していくかとか、どのような方がどのような方法で選定されますか。

神戸館長

まず19,000千円については、18年度から19年度で購入していきませんが、家庭のパソコンとかDVDが相当入っています。図書館には、CDやカセットは入っていますが、スペースや予算もありませんのでビデオやDVDは入っておらず、3年後に新しい図書館がオープンし情報体験室や開架の部屋も整備されますので、DVDをまず買っていきたいと考えています。内容は、基本的には個人でなかなか手に入りにくい物、生活や仕事に役立つDVDです。安い物でも3千円、高い物では何万円もしますので、たとえば「世界文化遺産」「プロジェクトX」とか、紀行、歴史、文化物、あるいは医学とか生活、趣味の関係、すべてが出ているわけではないですが、そういった物を選択したいと考えています。たとえば3千円とすれば、6千本買えますので相当なDVDを買えると思います。

これは、3年後の新図書館で開架したいと考えています。「買ったなら今開架すればいいじゃないか」という声もありますけど、セキュリティの問題があって、今CDやカセットも空の箱で貸し出しをしてるんですね。借りたい人には、倉庫から持ってきてということをやっています。バーコードでやっていますので、今度はICのいわゆるICタグを盗難防止に付けなければ、貴重な物ですのでそういったセキュリティを付けなければいけません。そうしたセキュリティを付けなければ開架ということは難しいじゃないかと考えています。

19年度の27,000千円は、1千万プラスされていますが本がだいたい5千冊ですね。だいたい1冊2千円が平均ですので、通常が1万冊買っていますので、そうすると1万5千冊が蔵書として買える事になります。

ご質問の誰がどうやって選ぶかは、この教育委員会で承認された資料収集方針と資料選択基準があります。それに基づいて図書館の専門職である司書が一般書、児童書別々のチームを組んで選書会議を、今日もやってるんですがしょっちゅうやっています。その中でリクエストとか、入れたい本、そうしたものをすべてリストに

挙げまして、収集方針と選択基準にあわせた選書をしています。

岡本委員

今までも図書館にリクエストすれば入れてもらえるとは聞いていますが、3年後の新しい大きな図書館に向けて予算も取れることなので、市民の中で「ぜひこの本を」とかそういう事があつたら、市民に聞いて声を集めていく企画をすれば、市民の方も新しい図書館に向けての希望や啓発の効果があるのではないかと思います。

神戸館長

そうですね。

岡本委員

今までは、専門の司書さんが主に決めておられるということなので、もう少し市民の方の声を聞くような方法を計画されてはどうでしょうか。

神戸館長

そうですね。どういう場面でどうやって聞いていくかという事もありますが、リクエストには100%応えるつもりでおります。で、図書館にリクエストされたけど必要ない本がありますよね。それは、相互貸借という制度がありますので、いわゆる公共図書館の貸し借りですね。それで対応しておりますので、手に入れたい本が、漫画本とかこれはどうかという本は別ですけど、他の資料でしたらだいたい手に入れますので、リクエストしていただく機会があればと思いますので、ちょっと考えてみます。

百瀬委員長

他にありますか。

村田委員

図書館のオンラインの話がありましたが、その機能の中にも「書庫にはないんだけどこういう本が欲しいよ」みたいな事を申請できる仕掛けがあればいいかもしれませぬ。

神戸館長

そうですね。ホームページの中でね。

村田委員

予約システムが動くという話がありましたよね。そのサブ機能のなかでどうでしょうか。入口は一緒なんだけどリクエストも出せるような事ができればいいですね。

神戸館長

そういう方法もありますね。

百瀬委員長

他にありますか。

村田委員

見ていて感心するんですけど、例外というか年度中の環境変化以外はほとんど予算内なんですね。予算失効能力がすばらしいのか、調達技術がすごいのか分かりま

せんが、くれぐれも予算を甘めに見ていると言われたいようにして欲しいと思いますが。

武居部長

塩尻市の予算の組み立てを簡単に説明しますが、まず実施計画が3年間のローリングであり、5百万円以上の工事費など大きいものを10月に財政当局へ出します。たとえば体育館の工事や市営球場の改修をするしないとかを1回やります。それを踏まえて各担当が11月ないし12月に新年度の本予算を組み、財政へ請求します。数年前から扶助費、人件費以外は、毎年5%ずつ減っているんですよ。

村田委員

予算が減っているんですね。

武居部長

そうです。今年も財政当局が非常にお利口になったとかお金がないという事で、各部へ昨年の一般会計の5%減、いわゆる補助金とかは抜いて「5%減で工夫してやりなさい」という事ですから、だまっても5%減らさなくてははいけません。そうすると各部で新規事業を創ろうと思ってもできないですよ。ですから非常に各課としても頭を使います。年々一般経費が5%ですから、消耗品、電力使用料が減ってきていますから、それは厳しいです。必要なものと必要でないものを厳選し、なおかつ昨年なかった事業を加えるという事になると、なお減らさないと新しく工夫してやる事業ができない事になります。そういう点では、昔の「お役所」の予算の組み立てとは、数段に違ってきました。無駄のないようにやる考え方でやっています。

赤羽部長

設計監理、あるいは工事費は、発注してしまえば入札差金は凍結です。

村田委員

その案件に対してですか。

赤羽部長

その案件に対する予算で1千万円予算があり8百万円で契約できれば、2百万円が凍結で使えない事になります。もう少し仕事をしたり、違うところへ使いたい事もありますが、凍結が基本になっています。ですから特に金額が億などと大きいときは、どうしてもそういう金額が出てきてしまいます。

あと高熱水費は、灯油の高騰がありだいぶ苦しい状況でしたが、実際には学校でも保育園でも儉約したり、ISOの取得によってこまめに消したりしています。ですが、燃料費は少し組み替えをしなければなりません。そういった工夫をしています。

村田委員

直感的に観てもみんな三角が付いていますね。これは、テーマに対する、たとえば入札方法や調達方法に対する改善と言いますか、その効果と観ていいんですか。

赤羽部長

そうです。

村田委員

予算を決める段階で5%カットになっているわけですね。それを更に減らして実施し、年度末では80%、90%の見込みという事ですね。

武居部長

ここに出てくるのは、工事費の差金が多いですね。赤羽部長が言ったように、差金の使用ができませんから大分減額が出ています。

村田委員

どういう組織にもあるんですが、これが調達努力だとして自分たちで再利用できればやりやすくなりますね。

赤羽部長

先に枠をはめてあるので「差金はいいよ」と言ってくれても良いような気がしますね。「吸い上げだ」と言われますから苦しいところはあります。自分たちの違う施策に使えるような仕組みがあればいいですが、法律上も問題がありますし、市の方針もあり苦しいところです。

武居部長

もう次年度に繰越金を予定しているんですよ。

村田委員

分かりました。ありがとうございました。

百瀬委員長

それではよろしいですか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それでは、この内容で3月の市議会定例会に提案する事にします。

○議事第4号 平成19年度学校給食費について

百瀬委員長

議事第4号、平成19年度学校給食費について、を議題にします。説明をお願いいたします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 例年、次年度の給食費を教育委員会決定している。
- ・ 来年度も本年度と同額で考えている。
- ・ 理由の主なものは、主食関係の材料費の上昇が見込まれず、引き続き献立を工夫して対応していく。
- ・ 給食費は、日額で計算し徴収する。
- ・ 一食推定価格が給食費に反映する金額となる。推定額はこれまでの実績を踏まえた金額となっている。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

小学校の主食ですが、パン、米飯、麺について、グラム数が今年度より減っていますね。今年度は、パンは75グラムで、米飯は70グラム、麺は80グラムだったと思いますけど、それが全部減らされています。たとえば小中学生で比べるとパンは65グラム、85グラムと20グラム差があるわけですけど、来年度に向けて主食を減らす理由と小学校6年生の中には体格のよい子もいますし、中学校とこれだけ差がある事を具体的にはどのように調整していくかお願いします。

丸山次長

細かな数字までは分かりませんが、中学はだいたい同じだと思います。小学校は、低学年と高学年で違います。単価については、あくまで平均単価としていますから、出し方の中で低学年高学年の差をつけてないと思います。細かく分析はしておりませんが、例年そんな形で出ささせていただいています。

岡本委員

主食のグラム数が減ってますが、小学校では残飯の数が多いとかの意見から減らしたんでしょうか。

丸山次長

この点は、確認して別紙で回答させていただきます。平均でやっていますし、学校ごとにもご飯の量が違っていたと思います。

岡本委員

グラム数も全部一緒ではないんですか。

丸山次長

ええ。ただ塩尻は統一していると思います。確認してなくて申し訳ありません。

主食以外の物については、例年7月と12月に市場調査をして、その単価の中から細かい献立表を作って試算をしています。単価については、去年より2円くらい安くなっています。一昨年は、野菜の高騰があって259円48銭というようなシビアな単価となっていました。

百瀬委員長

別に回答をいただく事によろしいですか。

岡本委員

お願いします。

百瀬委員長

他にいかがですか。

委員

意義なし。

百瀬委員長

それでは、議事第4号、平成19年度学校給食費については、18年度と同額と

して小学校が260円、中学校が300円と決定をしたいと思います。ありがとうございます。

○議事第5号 要保護準要保護児童生徒の認定について（追加提案）

〈非公開部分削除〉

5 その他

百瀬委員長

それでは、5番その他に入ります。

○その他第1号教育委員会行事予定表について

百瀬委員長

教育委員会行事予定表について、事務局からお願いします。

小島担当課長

お手元の資料に当日提出としてお願いしておりましたが、協議会でご相談しましたのであらかじめご予定を調整いただければと思います。

なお、事務局の部課長さん方をお願いですが、先に定例教育委員会の日程を配布させていただきましたが、協議会の中でご都合のつかない曜日等がありましたので、再度こちらで調整させていただきご案内しますのでよろしく願いいたします。それから年間行事予定表が文書フォルダにございますが、変更がありましたら随時お示しをいただくとお願いいたします。

百瀬委員長

定例教委の日程を木曜日ということで示していただきましたが、金曜日を主体にということでしたね。

小島担当課長

はい。

百瀬委員長

また事務局で立案をお願いします。

提出されている議題は以上であります。委員の皆さん何かございますか。（なし）

事務局からはありますか。

武居部長

報告ですが、たぶん議会が始まれば新体育館の建設についての質問があったり話題になると思いますが、一応現体育館の関係はすでにご報告し、補正予算でも改修する方向で議会でも認められると思います。そうすると研究委員会としては、現在の体育館を残しつつ新しい体育館を造るのか、造らないのか、あるいは造るとすればどこにするのかと研究に入っていきます。3月議会の総括説明では、今のところの予定として秋頃までに結論を出したいと市長から方針を提示していただく予定に

なっています。多分議会では、質問が出ますのでそんな答弁をしていきたいと思
います。

これからの課題は、いわゆる市民の皆さんに新体育館を建設すると研究委員会
が出したときに、どのように情報を提供して市民の意見を吸い上げるかが大きな課題
になります。新年度に入って研究委員会の報告が出たとところでご議論をいただく
事になりますのでよろしくお願いいたします。

百瀬委員長

それでは、そのようにお願いしたいと思います。

6 閉 会

百瀬委員長

それでは、以上で2月定例教育委員会を閉会します。ありがとうございました。

○ 午後4時06分に閉会する。

平成19年4月27日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教育企画担当課長
